

件名：大阪市立美術館大規模改修工事に伴う壁面展示ケース製作設置業務委託

No.	質問内容	回答
1	特記仕様書の適用・1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.2.3 施工図等 d.1)原寸モックアップの範囲 展示ケース E09 のモックアップで免震装置は必要でしょうか。	モックアップの免震装置製作は不要です。
2	特記仕様書の適用・14章 金属工事 9節 その他の金属材料 a,ボルト、ナット、小ねじ類 1)ボルト及びナットはステンレス製とするとありますが、通常の亜鉛メッキ製でよろしいでしょうか。	下地鉄骨の固定用については亜鉛メッキ製も可とします。 ただし、下地ボードを止めるビスなど、クロス貼り作業で湿気が生じる可能性がある箇所や、クロス下地など、錆の影響が内装仕上げの見た目に影響のある部位についてはステンレス製としてください。
3	業務概要書 3-6 照明器具その他電気関連 上部照明に列配置の指定がありますが、照度基準の仕様を満たせば、指定の列数でなくてもよろしいでしょうか。	各壁面展示ケースとも上部照明の列数は設計図書で指定された列数とします。
4	業務概要書 3-6 照明器具その他電気関連 上部スポットライトのリモート操作とは調色・調光でしょうか。	スポットライトのリモート操作は不要とします。スポットライトの仕様については、別紙をご参照ください。
5	図面 3-28 E09 床スラブ研り及び無収縮モルタル充填は別途建築工事でよろしいでしょうか。	床スラブ研りは、建築工事とし、無収縮モルタル充填は、壁面展示ケース製作設置業務とします。
6	下部照明用の透明ポリカは着脱式でしょうか。	日常的に着脱の必要はありませんが、照明器具不具合の時に取外して器具交換できる仕様としてください。

7	エアタイト性能試験を行う対象ケースについて、Aケース・Eケースそれぞれ1箇所ずつの計2箇所とし、それぞれについて過去に同仕様でのエアタイト性能測定実績がある場合は、過去実績の提出で問題ないでしょうか。	本業務で作製・設置する全壁面展示ケースごとに、新たにエアタイト性能試験を行うものとします。
8	使用材料の試験条件についてご指定ください。	下記、展示室の温湿度条件に準じた環境で試験を行ってください。 夏季：24°C±1、55%±5 冬季：22°C±1、55%±5
9	工事用事務所や作業員休憩場所・トイレ等の仮設物は建物敷地内に建てることができますでしょうか。	仮設物を敷地内に建てることはできません。施設の供用については、改修工事請負会社との協議によります。
10	アンカーの方法は変更しても良いでしょうか。	設計図書の通りの仕様としてください。
11	タブレット端末による調光システムの納入実績は、独立ケースのみの納入実績でも良いでしょうか。	独立展示ケースの納入実績のみでも可とします。
12	万一、タブレット端末の通信障害等で調光操作不可となった際に、バックヤードや分電盤等にシーン設定が可能な操作盤が必要でしょうか。	シーンの設定作業はタブレットのみで行い、操作盤で設定作業できる必要はありません。 ただし、タブレット端末の通信障害等が起きた場合でも最後に使用したシーンを再現できる仕様としてください。
13	免振装置のメンテナンスフリーとは、免振装置の機構・性能に関わるルール上のゴミ・埃に関して清掃不要と解釈して良いでしょうか。	メンテナンスフリーとは、ゴミ・埃が免震装置のルール上にたまらず、免震性能に影響がない構造・仕様を意味します。
14	業務概要書(図番：通し番号1-1)の3機能・意匠等の3-1フロント扉開閉方法で「a.手動でガラス扉を外側に移動させ・ ・」とありますが、扉上部外側の開閉ハッチ st t 1.6 A- BE は手動開閉でよろしいでしょうか。	ガラス扉上部の開閉ハッチ st t1.6 A-BE は、手動による開閉とします。

15	<p>業務概要書(図番:通し番号 1-1)の 3 機能・意匠等の 3-1 フロント扉開閉方法で「b.扉の有効開口幅はガラス幅の 95%を確保する」とありますが、E09 ケースの開口幅はガラス幅の 50%でよろしいでしょうか。</p>	<p>それぞれのガラス扉幅の 50%を開閉可動できる仕様とします。</p>
16	<p>業務概要書(図番:通し番号 1-1)の 3 機能・意匠等の 3-6 照明器具その他電気関連の上部ライティングレールで「展示ケース E09 (免震)上部用のマイクロスポットライト(30 台含む)」とありますが、図面(通し番号 3-28)の仕様表には単色調光式・照射角可変 色温度変換フィルター装着可」とありますが図面の仕様表を正としてよろしいでしょうか。またその場合の色温度変換フィルターの数量をご指示願います。</p>	<p>展示ケース E09 のマイクロスポットライトについては、フィルターの納入の必要はございません。その他展示ケースのスポットライトについては、配光用フィルターを台数分納入してください。(別紙参照)</p>

17	<p>特記仕様書の適用(図番通し番号 1-2) 2 節工事関係図書の 1.2.3 施工図等の d 原寸モックアップは、次により製作する。の 4)で「展示ケース D12 のガラスは実使用のガラスをモックアップに組み込む」とありますが、モックアップで使用したガラスを本工事に転用してもよろしいでしょうか。また「展示ケース E 09 のガラスは天板のみ組み込み(単板 t 10 も可とする)」とありますが、モックアップに実使用のガラスを使用して、それを本工事に転用してもよろしいでしょうか。展示ケース E 09 が端部を含むモックアップとなっておりますが、端部ガラスも実使用のガラスをモックアップに使用し、本工事分に転用してもよろしいでしょうか。</p>	<p>モックアップに使用するガラスは再利用しない前提としてください。</p>
----	---	--